

槻田中学校だより 	<<校訓>> 自律の心 尊敬の情 知能の力	平成29年度 第12号 平成30年1月26日(金)発行 校長 峯 隆幸

## 試練の冬を乗り越えて

つい先日3学期の始業式を迎えたと思ったらすでに……。1月は、行く。2月は、逃げる。3月は？ 欲しい時ほど時間が無い……と感じます。

3年生にとっては、それぞれの進路実現に向けて、いよいよ本番の時期がやってきました。「入試は団体競技！」と言い切った3年生担当の先生は、まさに全員の力で協力して、進路を勝ちとって欲しいという気持ちで、この言葉を言ったと思います。

「明けぬ夜はない」「止まない雨はない」そして、「春の来ぬ冬はない……。」苦しい時、つらい時、周りを見てください。隣には頑張っている仲間がいます。槻田中学校3年生が、いや槻田中学校全校が One team となって、乗り越えて欲しい試練の冬です。先生方も 1,2 年生の後輩たちも、皆さんのことを応援していますよ。

## まだまだ油断禁物、猛威を振るうインフルエンザ

せっかく勉強して力をつけたのに、その力が本番で発揮できなくては何にもなりません。と言うより体調が悪いまま試験に臨むという事態になれば、大きな後悔をすることにもなりかねません。

この時期、やはり健康第一なのです。

◎うがい・手洗い、の励行

◎十分な栄養と睡眠

◎人混みを避け、マスクをすることも有効です。

これもチームとして防げるのではないのでしょうか。

1,2 年生の皆さんも3年生にインフルエンザが流行することがないように、協力をお願いします。

※本校でも、一部の学級で、インフルエンザ流行による臨時休校措置(学級閉鎖)をとりました。

また、今後も措置が必要になる可能性もあります。感染症であるインフルエンザの流行を阻止する目的と、何より生徒の健康に配慮してのことです。措置した学級だけ授業に遅れが出たり、未学習の範囲が出たりしないように、配慮して授業を進めていきます。何卒ご理解下さいますようお願いいたします。

## ここで、今一度“あいさつ”を見直そう

3年生が面接試験の練習をしています。面接会場に見立てた校長室に入ってくる場面では、それはそれは、立派なあいさつをしています。あのあいさつが普段の生活場面できないかなあ(笑)。

先日見つけた、ある中学校のホームページにあいさつのレベル表が載っていたので、許可をいただいて参考までに紹介します。皆さんのあいさつは、現在レベルいくつですか？みんなで、レベル5のあいさつを目指しましょう。

レベル	レベル	どんな、あいさつ？ あいさつの様子
↑ レベル ア ッ プ	5	自分から、立ち止まり、 <b>笑顔で</b> 、大きな声を出して、お辞儀をした
	4	自分から、 <b>立ち止まり</b> 、 <b>大きな声</b> を出して、お辞儀をした
	3	<b>自分から</b> 、声をだして、お辞儀をした
	2	相手とほぼ同時に、 <b>声を出して</b> <b>お辞儀</b> をした
	1	相手に先にあいさつされてしまった だからこちらも <b>あいさつを返した</b>

## 2月行事予定

(予定ですので変更になる場合があります ご了承ください)

日	曜	行 事 予 定	日	曜	行 事 予 定
1	木	私立高一般入試(北九地区)③ 1,2年総仕上げ問題	15	木	美化コンクール
2	金	新入生説明会	16	金	々
3	土		17	土	
4	日		18	日	高専一般入試
5	月	私立高校合格発表日	19	月	
6	火	公立高校推薦入試 々	20	火	
7	水	々	21	水	学年末考査 音理英
8	木	保護者懇談会(3年生) PTA 理事会	22	木	々 技・家隣社
9	金	々	23	金	々 数 美 国
10	土		24	土	
11	日	建国記念の日	25	日	
12	月	振替休日	26	月	
13	火	公立高校推薦合格内定日	27	火	⑥道徳講演会
14	水		28	水	

## 頑張っています部活動 そして2月には冬のスポーツの祭典

寒い中、槻田中学校の各部活動も元気いっぱい頑張っている練習に励んでいます。こちら春になったら大きな成果が出るように、今は試練の時期です。そんな中、陸上部男子が区内新人駅伝大会に出場し、第3位になりました。明日は、市内大会です。頑張ってください。そして、2月9日(金)から大韓民国の平昌(ピョンチャン)で、冬季オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。今回は、時差がないので、テレビでも生中継等で応援しやすいですね。

スポーツのピックイベントでは、感動的な場面がたくさんあります。また、この日のために4年間、

精進を重ね、全力を尽くしたトップアスリートからは、勝敗に関係なく、人生の指針ともなる、示唆に富んだ話が聞けることもあります。日本選手団がメダルをいくつ獲得できるか選手や指導者からどんな話が聞けるか、楽しみです。家庭学習とのバランスを考えて応援しましょう。

